



# グローバルPBL体験談

実施年度	2021年度
プログラム連番	97
実施形態	オンライン
担当教員	デザイン工学科 梁 元碩先生
実施期間	2021年8月22日～8月29日
実施協定校	国立台湾海洋大学（台湾） 南洋理工学院（シンガポール） 祥明大学校（韓国） 公立はこだてみらい大学（日本）

# 参加学生体験談（要旨）

デザイン工学科

3年生

海外との学生とデザインについて学ぶワークショップに参加したことがなかったため、経験値を高めたいと思い参加しました。

このプログラムでは、SDGsの中から自分たちでトピックを決め、その解決策となる提案をKJ法を用いてグループで行いました。私のグループでは海外の学生と毎日ミーティングを開き、英語で喋りながらディスカッションをしました。方向性は全員で話し合い、モデリングや動画作成などの作業は役割分担しましたが、それぞれ得意なことが違い、誰もがレベルが高くて驚きました。そして何よりも、海外の学生と仲良くなれたことが一番嬉しく、良い経験になりました。

デザイン工学科

3年生

参加の理由は、外国人との交流と自分自身のスキルアップのためです。

今回のプログラムでは英語を使って交流しましたが、基本的にはオンライン上（miroやLINE、Instagramなど）で会話するので、翻訳機で乗り切ることができました。言語で壁があるメンバーだからこそ、グループワークの運び方には注意をして、方向性を随時みんな話し合い、みんなの理解を得た上で調整してきました。基本的には交流がメインではありますが、短時間でデザイン作業を行うことについて成長できたと考えております。

私自身、言語の心配があり参加を迷っていましたが、参加中は楽しく言語の壁に向き合うことができ、普段触れないネイティブの英語を聞けるので良い経験になりました。

# 参加学生体験談（要旨）

デザイン工学科

2年生

大学に入学する際から海外の大学と交流できるプログラムに参加したかったので、今回参加しました。

他の国の学生と共同で進めるプロジェクトに参加できて楽しかったですし、なにより、ゴールに関してアイデアを共有し、ディスカッションしていく過程は、gPBLならではの強みだと思いました。

対面で開催されたら、より賑やかな雰囲気でも効果的なプロジェクト進行ができると思うので、次回は是非対面で開催できる状況になることを期待しています。

デザイン工学科

3年生

3年生で初めて参加するより、1年又は2年生の早い時期から参加をして、経験を積んでおくことが、今後役に立つと思います。

デザイン工学科

3年生

海外の学生と話す経験を得たかったというのが、今回参加を決めた理由です。前回はPBLには参加したのですが、LINEなどのテキストベースの会話で終わってしまったので、リベンジとしてチャレンジしました。

デザイン工学科

3年生

私は英語があまり得意ではありませんが、自分の経験のために参加しました。今年で2回目の参加でした。

もちろん、たった1週間のプログラムで英語力が上がるわけではありませんし、オンラインで外国の大学生と一緒にデザインをするというのは、とても大変です。

しかし、何とかコミュニケーションを取ってでも取り組むことは、自分にとって本当に良い経験になり、最後は達成感もありました。

ここでの経験が、大学での授業や就活でのグループ活動への自信にもつながると思います。

# 参加学生体験談（要旨）

デザイン工学科

4年生

私は4年生で単位の取得もほとんど終わっていますが、本プログラムに参加した理由は、英語でのコミュニケーションをどれくらい取れるのか試したかったということと、就職活動でのグループディスカッションで養ってきたチームプロジェクト推進力を活かして、何かしてみたいと思っていたことがあります。

英語スキルに関しては、話を前に進めるためにメンバーに伝えようとし続けた結果、参加前と比べて英語がスムーズに出てくるようになりました。また、発音は4カ国の学生それぞれで、当初は聞き取りも困難でしたが、理解ができなかった部分は都度確認をしたり、チャットを利用して文字でコミュニケーションをとることで、相手の考えに対しての理解が深まりましたし、聞き取りもかなり向上しました。

言語の障壁がある中で、数日の期間で提案を完成させるというのは難しい挑戦ではありましたが、メンバーと躊躇なく考えを伝え合い議論ができる環境を作り、前に進めていくことができたので、とても達成感がありました。

言語や国に関係なく、物事を前に進めていくにはどうするか？といったリーダーシップについても学べたと感じています。

オンラインで1週間ほどのプログラムということで、座りっぱなしになったり、退屈になったりしないかという懸念はありましたが、各グループで自由に進められ、毎日メンバーと話ながら集中して取り組んでいたのが、充実した時間となり、あっという間でした。

英語スキルの面でも、国を超えたチーム活動のおかげで成長でき、とてもいい機会になったと感じています。